

3月14日

From: 米田 雅子 <[yoneda@psats.or.jp](mailto:yoneda@psats.or.jp)>  
Date: Mon, 14 Mar 2011 11:58:13 +0900  
Subject: TRC 小島様、福島佐藤工業からの情報

建設トップランナー倶楽部幹事会の皆様へ

○宮城県の建設新聞社小島編集長から連絡が入りましたのでお伝えします。

1) 小島さんは寒い避難所から出社。沿岸地域の情報が得にくいため、建設新聞社の社員全員の安否は確認できていない。

2) 深松組をはじめ、宮城県の建設会社は動きだしているが、電話などが通じにくいため、全体の情報を把握するのが困難である。ガソリン不足でトラック等を動かすのが容易ではない

3) 輪転機などすべて止まっているため、新聞を発行できない

4) 地方建設記者の会のネットで、できるだけ情報を流すように努力したい。(建通新聞の比良様に連絡するとのこと)

5) 道路が緊急車両しか通れないため、警察、自衛隊、消防以外の民間人による救援物資の運び込みは難しい(東京や東北各地から救援物資を送れるか?の質問に対して)

○福島県の佐藤工業の八巻様からの連絡が入りましたのでお伝えします。

1) 浜通り方面は、固定電話が時々つながる程度で、支店からの情報も入りにくい

原発の放射線もあり、壊滅した集落もあり、手当もしにくい状況である。

2) 中通り方面は、国道4号線が土砂崩れで、佐藤工業はその復旧を行っている

あちこちで水道管が破裂しており、水道は18日まで復旧しない見通し。

3) ガソリンが足りない。重機については、国交省が手当してくれるが、トラックは自前なので動きがとれない。県協からガソリンの手当の要請をしている。

○岩手県林務課からの情報

釜石市など沿岸部の市町村と電話が通じないこともあり、県庁としてもテレビと同様の情報把握しかできていない

○日立建機からの情報

災害時の建機の手当について、事前の取り決めがあり、対応したいのだが、最初の指示の連絡が来ないので、動きだせない状況である。(東北については、先日、シュミレーション訓練をしたばかりで、連絡を待っている状況とのこと)

<小島様、深松様、八巻様>

ネットのメールも届きにくいようですが、倶楽部で支援できることがあれば対応したいと思います。どうか頑張って下さい。また情報がありましたら、お伝えします。

米田雅子